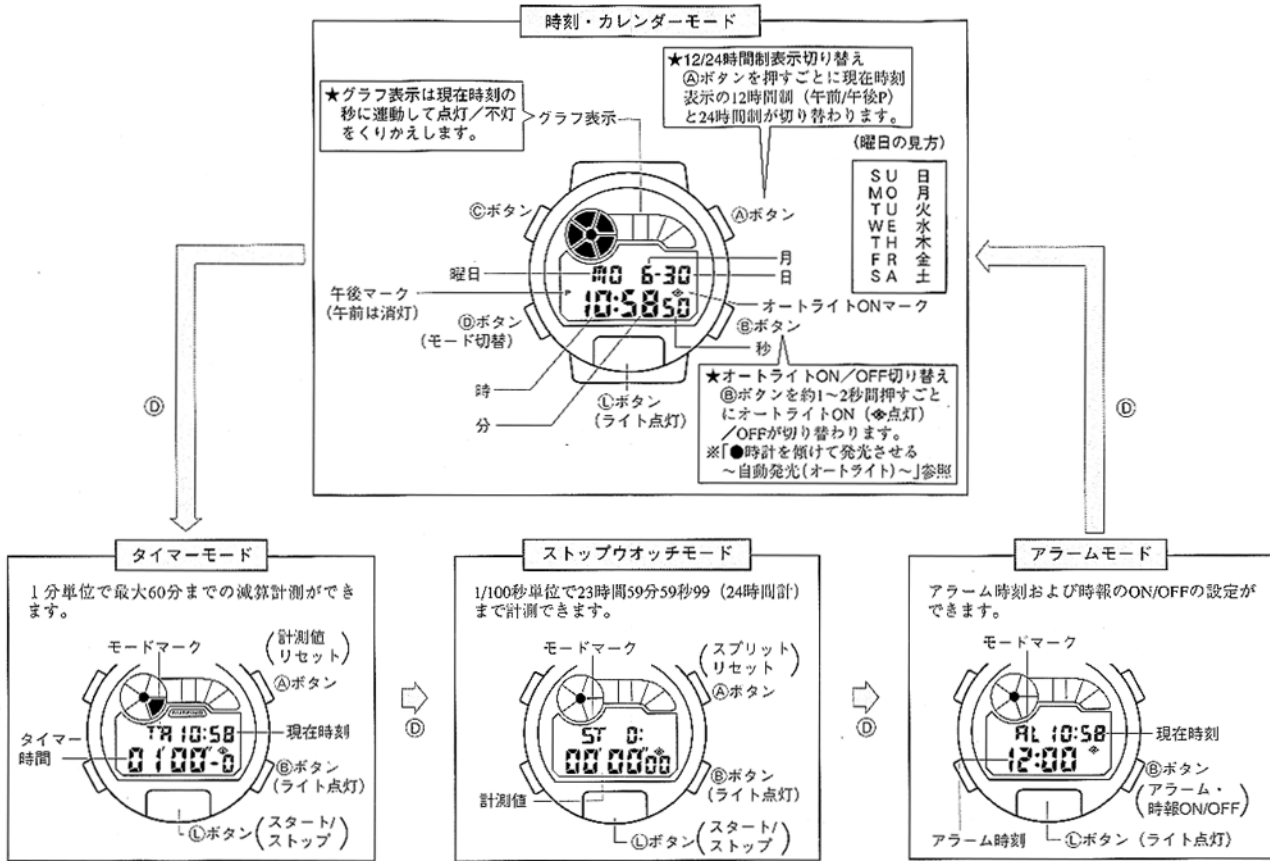


印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

操作のしくみと表示の見方

①ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■秒の合わせ方 …30秒以内の遅れ/進みの修正

月に1度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのときに、

③ボタンを押します
→「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて、
⑥ボタンを押します

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、「00」秒になります。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



(3)秒合わせが終わりましたら、

③ボタンを押して点滅を止めます



※秒(時刻・カレンダー)セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

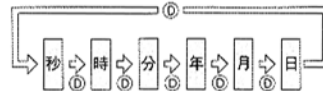
■時刻・カレンダーの合わせ方

(1)時刻・カレンダーモードのときに、

③ボタンを押します
→「秒」が点滅します。

(2)セット箇所を選ぶ

⑥ボタンを押します
⑥ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順に移動します。

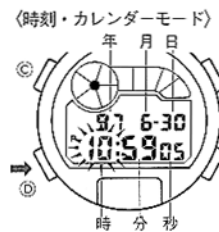


(3)点滅箇所のセット

⑥または④ボタンを押します

→⑥ボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進み、④ボタンを押すと1つずつ戻ります。
※それぞれ押し続けると数字が早送りします。

上記(2)~(3)の操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
※「時」のセットのとき午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。
※「年」は1995~2039年までセットできます。
なお、「年」をセットすると自動的に曜日を表示します。



(4)セットが終わりましたら、

③ボタンを押して点滅を止めます

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

タイマーの使い方

時刻・カレンダーモードのときに⑥ボタンを1回押すと、タイマーモードになります。

タイマーは、1/10秒単位で減算計測を行ないます。残り時間が0になる（タイムアップ）と10秒間の電子音で報知します。

タイマーの使い方

タイマーモードのときに、
①ボタンを押します

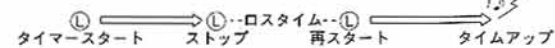
→①ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※減算計測は1/10秒単位で行ないます。
※計測ストップ後、④ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。



★ロスタイムがあるときは

減算計測中、①ボタンでストップ後、もう一度①ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。



●計測中の表示

減算計測中は、残り時間に合わせてグラフ部分が点灯/点滅します。



●計測中の報知

スタート時	計測開始と同時に電子音が鳴ります。
残り時間5分	3秒前から電子音でカウントダウンします。
残り時間4分～1分	1分ごとに電子音が鳴ります。
残り時間0 (タイムアップ)	3秒前から電子音でカウントダウンします。残り時間が0になると、電子音が10秒間鳴ります。

※電子音報知後、計測前の表示に戻ります。
※電子音報知中にいずれかのボタン(④⑤⑥⑦)を押すと、電子音が止まります。

■タイマー時間のセット

タイマー時間は1分単位で60分まで設定できます。

タイマーモードのときに、
②ボタンを押します

④ボタンを押すごとにタイマー時間が1分ずつ進みます。②ボタンを押し続けると数字が早く進みます。

※1～30分のときは、タイマー時間に合わせてグラフ部分が点灯します。



ストップウォッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに⑥ボタンを2回押すと、ストップウォッチモードになります。

ストップウォッチは23時間59分59秒99 (24時間計) まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

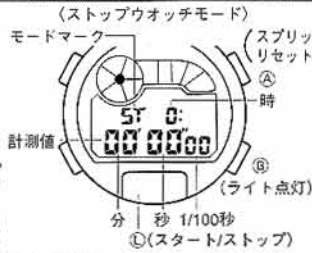
ストップウォッチモードのときに、

①ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

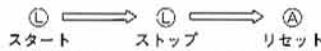
★計測中に②ボタンを押すと、スプリット計測となります ("SPLIT" 点灯)。もう一度②ボタンを押すとスプリットが解除されます。(スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています)

★計測終了後④ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

※①・②ボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。

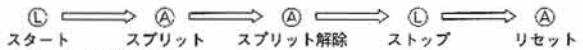


●通常計測

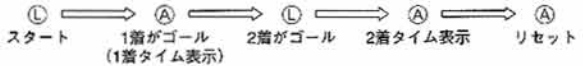


※積算計測…ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせず(①ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム (途中経過時間) の計測



●1・2着同時計測



アラームの使い方

時刻・カレンダーモードのときに⑥ボタンを3回押すと、アラームモードになります。

アラームは時・分を設定できます。セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時 (00分) に時報を鳴らすこともできます。

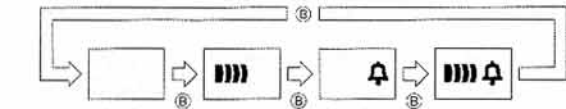
■アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのときに、

③ボタンを押します

→③ボタンを押すごとに以下の順でアラームON/OFFおよび時報ON/OFFが切り替わります。

※なお、アラーム時刻をセットすると "mm" が点灯し、自動的にアラームONとなります。(「アラーム時刻のセット」参照)



アラーム 鳴らない 鳴る 鳴らない 鳴る
時報 鳴らない 鳴る 鳴らない 鳴る

■アラーム・時報の報知方法

●アラームONのとき
セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

●時報ONのとき
毎正時 (00分) になると、「ビッピッ」と電子音が鳴ります。

■鳴っている電子音を止めるには
アラーム (時報) 音を止めるには、④⑤⑥⑦⑧ボタンのうち、いずれか1つを押します。

■モニターアラーム

アラームモードのときに④ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■アラーム時刻のセット

(1)アラームモードのときに、

③ボタンを押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。

※このとき "mm" が点灯し、アラームONとなります。

(2)セット箇所を選ぶ

⑤ボタンを押します

→⑤ボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅します。

(3)点滅箇所のセット

⑥または④ボタンを押します

→⑥ボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進み、④ボタンを押すと1つずつ戻ります。

※それぞれ押し続けると数字が早送りします。
※「時」のセットのとき、午前/午後にご注意ください。(午後のときは「P」が点灯します)
※時刻を24時間制にしているときは (24H点灯)、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(4)セット後、点滅を止めるには、

③ボタンを押します

※セット表示のまま2～3分経過すると自動的に点滅が止まります。



印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けるだけで文字盤が発光するオートライト機能もあります。

- ボタンを押して発光させる～手動発光～
- 時刻・カレンダーモード、アラームモードのとき、

①ボタンを押します



- タイマーモード、ストップウォッチモードのとき、

②ボタンを押します

→どのモード（表示）のときでも、文字盤にあるELパネルが約2秒間発光します。

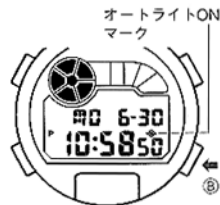
※ELパネル発光中に①または②ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。ただし、①または②ボタンを1～2分押し続けるとその時点で発光が消えます。

※オートライトOFF（“☼”不点灯）のときも②または③ボタンを押すと発光します。

- 時計を傾けて発光させる～自動発光（オートライト）～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字盤が発光する便利な機能です。暗い場所で時刻やストップウォッチの計測値などを見るときに大変便利です。

準備 時刻・カレンダーモードのときに③ボタンを約1～2秒間押し、 “☼” を点灯させて「オートライトON」にします。
※もう一度③ボタンを約1～2秒間押し、 “☼” が消え、「オートライトOFF」になります。



文字盤を発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。
※このとき、文字盤の左右（3時～9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



<オートライトご使用時の注意>

- オートライトが作動するのは、“☼”を点灯させてから約3時間です。それ以降は電池消費防止のため、自動的に“☼”が消え、オートライトOFFになります。※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度③ボタンを約1～2秒間押し、 “☼”を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、文字盤の発光が一瞬遅れることがあります。これは異常ではありません。
- 文字盤発光後、時計を傾けたままにしていても、発光は約2秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上へあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときはOFFにしておいてください。
- ※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると、発光しやすくなります。

<EL発光についての注意事項>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。